

## 1 開会行事 進行：学園 Co

- 中央学園学校長挨拶（中央中 村山校長） ○市教育委員会挨拶（指導主事 名切 太志）
- 宗像市学園運営協議会規則及び中央学園運営協議会運営要領の確認（北村 Co）
- 学園運営協議会委員委嘱状交付 ○会長・副会長選出（会長：内田龍男 副会長：井浦潤也）

## 2 説明 進行：会長

### (1) 前回議事録の確認から

- ・会長：教育委員会に対して、SSWの活用時間を増やしてもらえないかという意見書提出（別紙）
- ・名切指導主事：意見の回答（別紙）

### (2) 本年度の学園方針について（中央中 村山校長）

- ・令和2年度～4年度までの重点目標とスローガン「進んで みんなで 最後まで」について説明
- 新規事業として、宗像子ども大学の日や小小合同修学旅行を予定。

### (3) 質疑応答

- ・柴田委員：最終年度の特別な方針や重点的な取り組みについて教えてほしい。
- ・村山校長：これまでの組織の充実や連携を図りながら活動に取り組んでいく。評価については、評価の基準80%を越えられるようにしていく。
- ・柴田委員：令和2～4年度の設定するために、地域の方や家庭のご意見を聞いた上で設定することが大切だと森先生が言われていたので、令和5年度以降の重点目標をこの場で検討していくことが必要なのではないかと思う。その際に、今年度の評価をもとに設定していくことが必要。令和5年度に向けての運営協議会の計画にも入れてほしい。
- ・内田会長：計画の中に時期を検討していく。

### (4) 学園運営協議会年間計画

- ・事務局 南教頭：令和5年度に向けてのアンケートを1月に示す。会を重ね必要なことを追加する。
- ・内田会長：あいさつ運動は地域を巻き込んだ運動にしたいという意見が前年度出ていたので、企画段階で話し合えたらと考える。

## 3 熟議 進行：会長

### (1) サポート本部の説明（井浦副会長）

- ・学校と地域の活動へのサポートをしていくことを趣旨として設立された。現在、60名の会員が登録。賛助会員として地元の商工業者に依頼し、22団体が登録。・学校や地域からの依頼により、小中一貫校区愛着活動からスタートしている。5,6年生対象にジュニア会員の登録の説明をし、登録している。地域と子どもがつながる、子どもと保護者がさらにつながることが大切になっている。サポート隊への依頼例は、体力テストやミシンの学習支援など。ガイドブックを配付し、どんな活動ができるか、どのように子どもたちと関わるかなどを記載している。ガイドブックの中に「できるときに、できる人が、できるだけ」と合言葉を記載しているので、そのような考えのもとに参加していただきたいと思う。

### (2) サポート本部の周知と活用について熟議（家庭・地域に分かれて熟議とその共有）

- 【家庭】・PTAからサポート本部を浸透させるため、機会を得て周知していきたい。・学校が力を入れていくこともわかってきた。・各校の既存の団体とタイアップしていくこと。・PTA役員活動に課題がありその解決とサポート本部の関連。・まず登録し、活動し、その生の声（感想）を伝えていくことが大切
- 【地域】・運営面について（人数やその把握の仕方、保険等）・サポート隊についての認知を広めるための活動が必要。・サポートの具体的な内容を知りたいので説明してほしい。→チラシに記載。・サポート隊は子どもの育成のためであって、「何でも」にならないようすみわけが必要。・自治体（自治会）に具体的に広めていくために、コミセンだよりも周知できるようにして皆さんに広報していく。・団体登録の方の連絡方法→東郷小おやじの会とアンビ、チーム中央の各会長から会員に連絡するようにしている。

### （鈴木委員：熟議の価値付け）

- 活動ガイドブック：子どもたちの自主自立を促すための子どもたちへの関わりの記事がよい。
- 傾聴とアイメッセージの重要性について：
  - ・子どもたちの自己決定が大切。自己決定できる場をいれるとよい。サポート本部の主は学校支援ではないかと思う。「学校がやりたいこと、先生たちが子どもたちのためにもっとこんなことをしたいけど、現状の手ではできないので助けてほしい。」という願いをもとにスタートしたほうが良い。「先生方がやりたいけれど、できないこと」を伝えていくことが大事。だから先生方の思いを語る場があってもよかった。先生方がやりたいこと、願いを伝えられる場になって協議の柱として位置づけることができると良い。
  - ・大人が自己決定して関わっていくようにしていくことを見せることが大切。大人自身が「ねばならない」ではなく、社会へ関わる主体者としての姿を子どもたちに見せていけたらよいと思う。
  - ・サポート隊の会員の方の名札の工夫があってもよいと思う。サポートマイスターなどとわかるようにしていく方法もある（名札で回数が見えるなども一つのアイデア）。

## 4 閉会行事 進行：学園 Co

- 学園運営協議会副会長挨拶（井浦副会長） ○中央学園学校長挨拶（東郷小 牛島校長）